

■ 『北海道文学大事典』ご利用の皆さまへ——ネット上での公開にあたって ■

【はじめに】

『北海道文学大事典』（編集・北海道文学館／発行・北海道新聞社）が1985（昭和60）年に刊行されてから四半世紀以上が過ぎました。多くの皆さまにご利用いただいていたこの『大事典』も、今日では入手が難しくなった事情から、ここ数年来その内容をインターネット上で公開してほしいという声が当文学館にしばしば寄せられてきました。

そこで、これらのご要望におこたえするために当文学館では、このたび「人名編」について先行的に北海道立文学館のホームページ上で公開することにいたしました。北海道の文学にいっそう親しんでいただくために、どうかお役立てください。

原則的には『大事典』刊行当初の姿にとどめました。したがって、訂正を加えるべき箇所も若干は残っていますが、調査可能な範囲で修正をほどこしました。なお、今後も調査を継続し、より正確な情報をご提供するつもりです。

【ネット版『北海道文学大事典』編集上の留意点】（順不同）

- * この『大事典』の当該ホームページ上における公開は、公益財団北海道文学館が、自らの責任において公開するものです。
- * この『大事典』は既に絶版になっているものです。また、北海道新聞社の著作権も消滅しています。
- * ここに搭載された個々の記事は刊行時に原稿買い取りの方式で集められ、個々の執筆者には、北海道文学館から稿料が支払われています。
- * 今回の公開は『大事典』の「人名編」にとどめ、「雑誌編」「事項編」については、調査・訂正などの作業を進める過程で順次アップしていきます。また、『大事典』の冒頭に収められていた、写真（グラビア）ページは割愛しました。
- * 公開に際しては、『大事典』初版に僅かながら認められた誤字・脱字、また誤記について、可能な範囲で修正をほどこしました。
- * 一部の記事中には、人名漢字などの用字（正字体や旧字体）について、コンピュータ処理のうで画面への反映が困難な例があります。カッコ内に「偏」や「つくり」を掲げて判断していただけるように努めました。が、刊行時のままとした例もあります。
- * 『大事典』刊行後の物故者は多数にのぼりますが、今回の「人名編」の公開に際して没年月日が判明した人物については、見出し語(人名)を赤いラインで囲み、「人名編」記事の最後に一覧表を掲げました。なお、相当数の没年月日不明の人物が残っていますが、調査を継続し、新たに判明した情報を追加していく予定です。
- * この『大事典』の記事内容は、コンピュータのディスプレイ上でのみ読み得る形式を採用しています。画面上の記事はプリントアウトできませんので、ご注意ください。

【お願い】

物故者の没年月日など、新たな内容訂正を可能とする情報をお持ちの方は、当文学館までメール等でご一報ください。

※e-mail: bungaku@h-bungaku.or.jp

(2012年4月3日)